

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	改訂版「日本史A」(山川出版社)						
副教材等	図説日本史通覧(帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

＊歴史の因果関係(背景・原因・結果・影響など)を捉えて理解する。
 ＊江戸時代までの歴史や国際的・地理的な条件を踏まえ、多様な視点から考察する。
 ＊学問としての歴史を現代社会に生かす方法を考え、日本の在り方を考察する。
 ＊様々な史資料を利用することで歴史に対する興味・関心を喚起し、生徒の学習意欲を高める。

2 学習の到達目標

我が国の近現代史の展開を、諸資料に基づき国際的・地理的な条件と関連付け、現代の諸課題に着目して考察することによって、歴史に対する興味・関心や考察する力を培う。その上で、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。とくに、日本は、諸外国との外交問題に加え、古い封建遺制および新しい資本主義という国内における矛盾を抱えながら発展し、対外戦争を経ることによって現代に到達したことを理解させる。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国民としての自覚をもつ。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を多様な視点から考察し、現代の諸課題を見出し、公正な判断のもとでその過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、考察するために効果的に活用している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色に関する基本的な事物を理解し、その知識を正しく身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート 確認テスト レポート(発表)	ワークシート 定期考査 レポート(発表)	ワークシート 定期考査 レポート(発表)	確認テスト 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	4・5	第序章・近世社会の動揺と近代への胎動 第1章・開国と明治維新	1 幕藩体制の動揺と政治改革 2 新しい経済構造と学問の芽生え 3 日本をとりまく世界の変容 1 アジアの激動と日本の開国 2 江戸幕府の滅亡 3 明治維新 4 富国強兵 5 明治初期の外交 6 殖産興業と文明開化	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 開国前後の国際情勢・国内情勢への関心を高め、開国後の社会変化・権力闘争の経緯を意欲的に追究するとともに、明治新政府の諸政策の意義について考察を深めようとしている。 b: 開国前後の国際情勢・国内情勢をうけて、開国後の社会変化・権力闘争の経緯や明治新政府の諸政策の意義を歴史的に考察し、適切に表現している。 c: 開国前後の国際情勢・国内情勢に関する情報を諸資料から読み取り、近代化の方向性を考察する材料として効果的に活用している。 d: 開国後の社会変化・権力闘争の経緯や明治新政府の諸政策について理解し、その知識を正しく身に付けている。	ワークシート 確認テスト 定期考査
	6・7	第2章・立憲国家の成立	1 自由民権運動 2 立憲制の成立 3 立憲政治の展開 4 日清・日露戦争 5 産業革命と社会の変容 6 明治の文化	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 自由民権運動への関心を高め、大日本帝国憲法制定の経緯を意欲的に追究するとともに、帝国主義・産業革命の意義について考察を深めようとしている。 b: 自由民権運動をうけて、大日本帝国憲法制定の経緯や帝国主義・産業革命の意義を歴史的に考察し、適切に表現している。 c: 帝国主義・産業革命や明治期の文化に関する情報を諸資料から読み取り、近代化の特徴を考察する材料として効果的に活用している。 d: 大日本帝国憲法制定の経緯や帝国主義・産業革命について理解し、その知識を正しく身に付けている。	ワークシート 確認テスト 定期考査

2	8 ・ 9 ・ 10	第3章・第一次世界大戦と日本 第4章・昭和の恐慌と満州事変	1 政党政治の展開 2 ワシントン体制 3 経済・社会の変容 4 市民文化 1 恐慌の時代 2 政党内閣期の内政と外交 3 軍部の台頭	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 第一次世界大戦前後の世界の動向への関心を高め、国際協調・政党政治への経緯を意欲的に追究するとともに、長期に及ぶ恐慌の意義について考察を深めようとしている。 b: 第一次世界大戦前後の世界の動向をうけて、国際協調・政党政治の経緯や長期に及ぶ恐慌の意義を歴史的に考察し、適切に表現している。 c: 第一次世界大戦前後の世界の動向や大正・昭和初期の文化に関する情報を諸資料から読み取り、国際的地位の変化を考察する材料として効果的に活用している。 d: 国際協調・政党政治の経緯や長期に及ぶ恐慌について理解し、その知識を正しく身に付けている。	ワークシート 確認テスト 定期考査
	11 ・ 12	第5章・第二次世界大戦と日本 第6章・占領下の日本	1 日中戦争 2 重化学工業化と統制経済 3 第二次世界大戦と太平洋戦争 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 国際情勢の変化や軍国主義化への関心を高め、日中戦争・アジア太平洋戦争の経緯を意欲的に追究するとともに、新しい国際秩序における戦後改革の意義について考察を深めようとしている。 b: 国際情勢の変化や軍国主義化をうけて、日中戦争・アジア太平洋戦争の経緯や新しい国際秩序における戦後改革の意義を歴史的に考察し、適切に表現している。 c: 日中戦争・アジア太平洋戦争に関する情報を諸資料から読み取り、日本の戦局や戦地・銃後の状況を考察する材料として効果的に活用している。 d: 日中戦争・アジア太平洋戦争の経緯や新しい国際秩序における戦後改革について理解し、その知識を正しく身に付けている。	ワークシート 確認テスト 定期考査

3	1・2	主題学習	<p>* 近代の追究「国際情勢と国民」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定 ・資料収集 ・レポート作成 ・成果発表 <p>* 領土に関する学び</p>	○		○	○	<p>a: 近代日本の国民の生活を、当時の国際情勢と結びつけて歴史的な観点から追究し、主体的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 近代日本の国民の生活を、当時の国際情勢と結びつけて歴史的な観点から追究し、適切に表現している。</p> <p>c: 近代日本の国民の生活を、当時の国際情勢と結びつけて歴史的な観点から追究するための情報を収集・整理し、効果的に活用している。</p> <p>d: 近代日本の国民の生活を、当時の国際情勢と結びつけて歴史的な観点から追究するための知識を正しく身に付けている。</p>	レポート ワークシート 確認テスト 定期考査
		<p>第7章・経済繁栄と保守長期政権</p> <p>第8章・現代の世界と日本</p>	<p>155年体制</p> <p>2 高度経済成長期の経済と社会</p> <p>1 冷戦の終結と日本</p> <p>2 日本社会の変容</p>	○	○	○	○	<p>a: 主権回復後の日本の動向や国際情勢への関心を高め、高度経済成長の経緯を意欲的に追究するとともに、日本・世界が直面している課題について考察を深めようとしている。</p> <p>b: 主権回復後の日本の動向や国際情勢をうけて、高度経済成長の経緯や日本・世界が直面している課題を歴史的に考察し、適切に表現している。</p> <p>c: 主権回復後の日本の動向や国際情勢に関する情報を諸資料から読み取り、戦後日本が担う役割を考察する材料として効果的に活用している。</p> <p>d: 高度経済成長の経緯や日本・世界が直面している課題について理解し、その知識を正しく身に付けている。</p>	

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用 of 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単

元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。